

ルーテル学院大学の
オープンキャンパスによろこそ！

フクシが
つなげる
みんなと
つながる

ルーテル学院大学総合人間学部
高山 由美子



フクシ・福祉って

どんなイメージ？



フクシ ～福祉の意味

「福祉」

①さいわい ②しあわせ ④神から授かる助け

⑤社もしあわせ

「社」

①神から授かる幸福 ②神のとどまる場所

出典：『大漢語林』、大修館書店、1992年

私たちの人生で 起こりうること…

・病気になる…

・けがをする…

・仕事が続けられなくなる…

・年を重ねる…

・何らかの“しょうがい(障害)” にぶつかる…

・人生のどこかで、自分に、家族に、大切な人に、

困難なことが起こりうる…

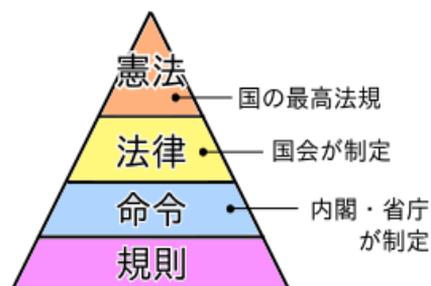
それでも私たちには、 しあわせになる権利がある。

しあわせになる権利とは何でしょう？

～私が私らしく暮らせる権利～

日本国憲法第十三条（幸福追求権）

すべて国民は、個人として尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする。



自分だけの
しあわせから、

自分以外の誰か
のしあわせも
考える

福祉は、自分だけのしあわせを考えることから、自分以外の誰かのしあわせを支えることを考える。それは、何によって支えていくのでしょうか？

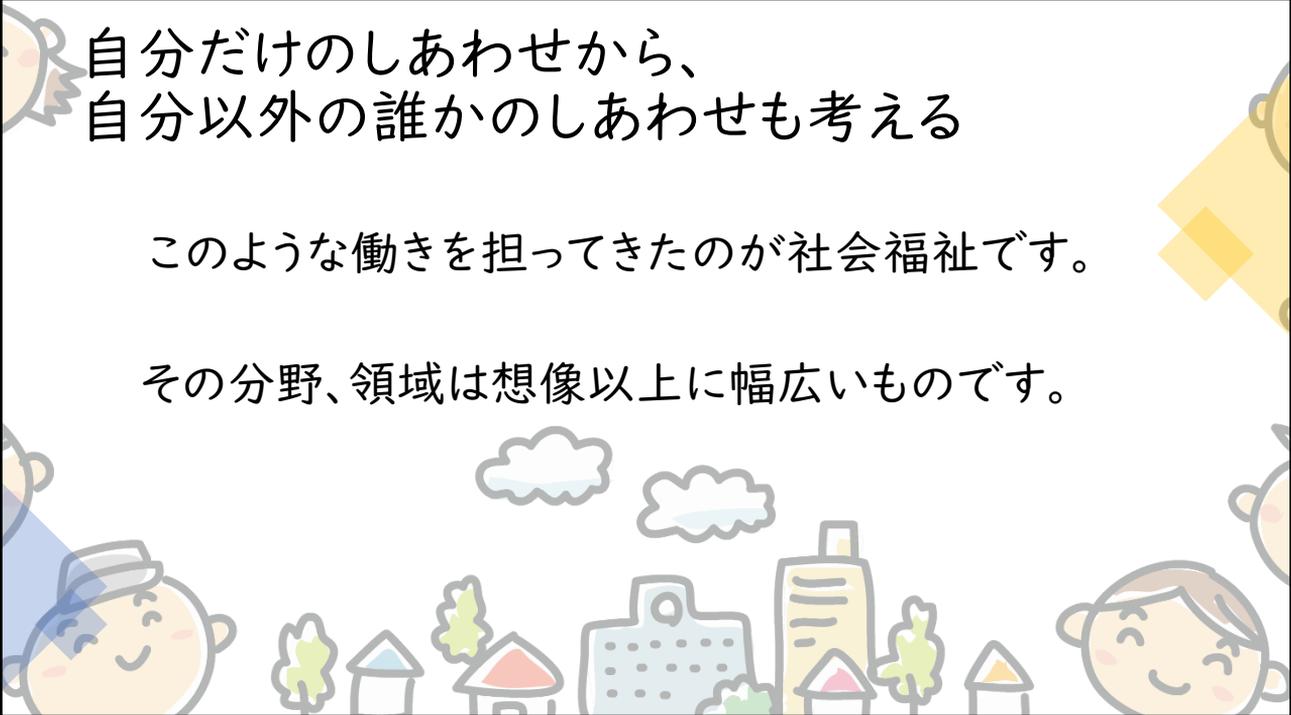
- ・ 「思い」…
- ・ 「法律・制度」…
- ・ 「社会福祉の価値、専門的な知識や技術」…
- ・ 「科学技術」…
- ・ 「人々とのつながり」



自分だけのしあわせから、
自分以外の
誰かのしあわせも考える

自分以外の誰かの幸せを考えると、必ず「つながり」が生まれてきます。

「共に生きる社会」をつくる必要があるからです。



自分だけのしあわせから、
自分以外の誰かのしあわせも考える

このような働きを担ってきたのが社会福祉です。

その分野、領域は想像以上に幅広いものです。

自分だけのしあわせから、 自分以外の誰かのしあわせも考える

そのような社会福祉の働きがわかる動画（約5分）をご紹介します。
是非、以下のURLにアクセスして視聴してください。

「みんなの『生きる』を～社会福祉法人」（全国社会福祉法人経営者協議会）

<https://www.youtube.com/watch?v=5X8GuwTRqVA&feature=share>



社会福祉の働きを担うソーシャルワーカー (Social Worker)のお仕事

- ・ つなぐ 人と人 人と制度 人と地域をつなぐ
- ・ ささえる 本人の思いや暮らしをささえる
- ・ まもる 権利をまもる
- ・ 創る ない資源（制度や仕組みなど）は創造する
- ・ 展望する どんな社会がしあわせな社会かを考える

ソーシャルワーカー (Social Worker) のお仕事

- 基本的人権の尊重と社会正義に基づいたはたらきをするために、いつも私たちが暮らす**地域、社会、世界**を視野に入れていきます。
- 様々な社会生活上の問題をもつ人たち一人ひとりを大切にします。
- 一人ひとりを支えること通して、問題の発生予防や課題解決の道を共に探ります。

ソーシャルワーカー (Social Worker) のお仕事

- そのために必要な、専門職としての価値・倫理、知識、技術を獲得します。
(社会的承認を得た資格の重要性)
- つなぐ、ささえる、まもる のほかに、創(つく)ること、誰もが暮らしやすい社会とは、どのような社会なのかを展望することも、ソーシャルワーカーの大切なはたらきです。

誰かの役に立ちたい。

その“想い”を

ソーシャルワーカーという
カタチにしてみませんか？

90人に、
90の物語。

映像音声文字起こし

みんなの「生きる」を社会福祉法人(全国社会福祉法人経営者協議会)

<https://www.youtube.com/watch?v=5X8GuwTRqVA&feature=share>

[音楽～♪]

／みんなの「生きる」を。社会福祉法人。

社会福祉法人は高齢者、子ども、障害者などの生活を支える福祉サービスを提供しています。

全国に約 2 万法人。

職員は、約 87 万人。利用者は約 296 万人に上ります。

地域で暮らす人々の、「自分らしく生活したい」をいろいろな方法で応援しています。

貧困をはじめ、DV 被害、虐待、引きこもり、アルコール依存など、さまざまな課題に対し専門性を生かしてその人に合った方法でサポートしています。

[0:56]

日本では、少子高齢化が進み、共働き世帯が増えています。

日本の未来を担う子どもたちを、社会全体で育てていくことが重要です。

社会福祉法人は、子どもの成長を地域で支えるため、保育所や子育ての不安を相談できる場を作っています。

また学習支援や食事支援、居場所を作ることで子どもたちの孤立を防いでいます。

[1:35]

働く喜びをすべての人に。

さまざまな理由で働くことができない人がいます。

このような悩みには、周りの理解が得られるようなサポートや、ワークシェアなどの工夫によって、その人らしく働くことを支援していきます。

糸をつむぐように人と人をつなぐ。

社会福祉法人が持つネットワークを生かし、地域の人々とともに互いに支え合うことができるまちづくりを進めています。

[2:15]

災害時、介護が必要な方への生活支援や心のケアなど、専門性を生かして活動しています。

福祉避難所の開設、支援物資の搬送、全国の社会福祉法人のネットワークを生かした福祉の専門職派遣など直ちに地域を支える体制を整えています。

このように非営利で公益的な活動をしているため、法人税などは原則非課税です。

その信頼に応えるため、行政の監査を定期的に受けています。

収益はすべて福祉サービスに還元。

急な撤退で利用者を困らせることはありません。

[3:03]

制度がなかったからこそ。社会福祉法人の源流は、戦争で親を亡くした孤児など衣食住に困っている人々、特に妊婦や病気の子どもなどに対し、篤志家たちが経済援助や教育活動を行ったのが始まりです。

その志を受け継ぎ、今も行政の手が届きにくい部分に目を向け、地域で必要とされている活動を行っています。

制度がないところでのニーズ発掘と実践は、今もなお社会福祉法人の強みです。

[3:40]

生活の中で困りごとが起きたとき、支援が必要なときに利用していただける様々な活動を行っています。

また、地域のニーズに応え、新しいサービスを作り出します。

社会福祉法人は、これからも福祉の充実発展に向けて努力を重ねていきます。

みんなの「生きる」を。

社会福祉法人。

[以上]